

第3章 労働災害

休業4日以上之死傷者は929人で前年より増加
死亡者は5人で前年より減少

平成28(2016)年1月～12月の市内の労働災害被災者数(休業4日以上之死傷者)は、総計929人で前年に比べて53人増加した。

1 平成28(2016)年の労働災害の状況

(1) 産業別・規模別の特徴

- ① 休業4日以上之死傷者は前年より53人増の929人、死亡者は4人減の5人となっている。(2-3-1表)
- ② 企業規模別では、30～299人規模の事業所の死傷者数は420人(うち死亡者数0人)で最も多く、前年と比較すると25人増(死亡者数は同数)、30人未満規模では死傷者数417人(うち死亡者数4人)で前年に比べて9人増(死亡者数は4人減)、300人以上規模では死傷者数92人(うち死亡者数1人)で前年に比べて19人増(死亡者数は同数)となっている。(2-3-1表)
- ③ 産業別では、その他の事業の死傷者数は527人(うち死亡者数2人)で最も多く、前年と比較すると29人増(死亡者数は3人減)、建設業では死傷者数155人(うち死亡者数2人)で前年に比べて29人増(死亡者数は同数)、運輸交通業では死傷者数137人(うち死亡者数0人)で前年に比べて11人減(死亡者数は1人減)、製造業では死傷者数110人(うち死亡者数1人)で前年に比べて6人増(死亡者数は同数)となっている。(2-3-1表)

(2) 労働者災害補償保険の給付等状況

- ① 適用事業所は26,011事業所、労働者数は527,177人で、前年度と比べると、事業所数は792箇所増加、労働者数は7,573人増加している。(2-3-2表)
- ② 給付等総数は32,706件、支給額は約28億円1,700万円で、前年度と比べると、1,052件減少し、約1,400万円減少している。(2-3-2表)

(3) 事故の型別労働災害発生状況

- ① 事故の型別をみると「転倒」(222件)、「墜落・転落」(150件)、「無理な動作の反動」(116件)などとなっている。(2-3-3表)
- ② 産業別に発生の型をみると、建設業では「墜落・転落」(47件)、「飛来・落下」(21件)、製造業では「転倒」(31件)、「巻き込まれ・はさまれ」(20件)、運輸交通業では「交通事故(道路)」(28件)、「墜落・転落」(23件)などが多くなっている。(2-3-3表)
- ③ 市内の労働基準監督署に報告のあった死亡事故の発生状況の詳細については、2-3-4表に記載したとおりである。

2-3-1表 産業別・規模別労働災害発生状況(平成28(2016)年 1月～12月)

(単位:人)

産業別 規模別	事業所規模別被災者 () は死亡者数				H27 (2015) 年 産業別内訳
	30人未満の 事業所 (事務組合も含む)	30～299人の 事業所	300人以上の 事業所	H28(2016)年 合 計	
建 設 業	137 (2)	18 (0)	0 (0)	155 (2)	126 (2)
製 造 業	38 (0)	51 (0)	21 (1)	110 (1)	104 (1)
運 輸 交 通 業	41 (0)	95 (0)	1 (0)	137 (0)	148 (1)
そ の 他 の 事 業	201 (2)	256 (0)	70 (0)	527 (2)	498 (5)
規模別内訳					参考) 全国計
H28(2016)年 計	417 (4)	420 (0)	92 (1)	929 (5)	117,910 (922)
H27(2015)年 計	408 (8)	395 (0)	73 (1)	876 (9)	116,311 (965)

注1:休業4日以上之死傷者数であり、()内は死亡者数である

注2:死傷者数は労働者死傷病報告、死亡者数は死亡災害報告による

資料出所:神奈川県労働局(川崎南・川崎北労働基準監督署 計) 厚生労働省(全国計)

2-3-2表 労働者災害補償保険給付等状況(平成28(2016)年度)

(単位:件、千円)

項 目		川崎南労基署	川崎北労基署	H28(2016)年度 合計	H27(2015)年度 合計
事業所数	(所)	12,755	13,256	26,011	25,219
労働者数	(人)	264,022	263,155	527,177	519,604
総数	件数	15,146	17,560	32,706	33,758
	金額	1,526,254	1,290,902	2,817,156	2,831,301
療養補償給付	件数	12,900	15,518	28,418	29,178
	金額	921,050	807,119	1,728,169	1,580,975
休業補償給付	件数	1,891	1,810	3,701	3,956
	金額	368,511	328,707	697,218	777,143
障害補償給付 (一時金)	件数	69	72	141	155
	金額	164,024	118,018	282,042	303,682
遺族補償給付 (一時金)	件数	3	1	4	10
	金額	33,201	13,049	46,250	92,311
葬祭料	件数	12	7	19	34
	金額	8,777	5,409	14,186	27,392
介護補償給付	件数	271	152	423	425
	金額	30,691	18,600	49,291	49,798

資料出所:神奈川県労働局

2-3-3表 川崎市内の業種別・規模別・事故の型別災害発生状況 (休業4日以上死傷)

業種別 規模・型別		合 計	事業所の規模別 () 内は死亡者数					事 故 の 型 別			
			9人以下	10～49人	50～99人	100～ 299人	300人 以上	墜落・ 転落	転 倒	激 突	飛来・ 落下
建設業	土木工事	32 ()	17	15				6	3	2	4
	建築工事	92 ()	68	22	1	1		32	11	4	12
	その他の建設	31 (2)	21 (2)	9		1		9	1		5
	計	155 (2)	106 (2)	46 ()	1 ()	2 ()	0 ()	47	15	6	21
製造業	食料品製造	39 ()		9	5	13	12	2	15	3	1
	繊維工業	0 ()									
	衣服その他の繊維	0 ()									
	木材・木製品	1 ()				1		1			
	家具・装備品	0 ()									
	パルプ等	3 ()		1		2		1		1	
	印刷・製本	1 ()		1							
	化学工業	9 ()		2	2	3	2		5		
	窯業土石	0 ()									
	鉄鋼業	5 (1)	1		1		3 (1)	3			1
	非鉄金属	3 ()		1		2			1		
	金属製品	24 ()	7	13		4		1	2		2
	一般機械器具	4 ()		3	1				1		2
	電気機械器具	8 ()	1	2	2	1	2	2	4		
	輸送機械製造	3 ()	1	1			1		1		
	電気・ガス	0 ()									
	上記以外の製造業	10 ()	3	2	2	2	1	2	2	1	1
	計	110 (1)	13 ()	35 ()	13 ()	28 ()	21 (1)	12	31	5	7
鉱業		0 ()									
運輸 交通業	鉄道等	6 ()	1	2	2	1			3		
	道路旅客	35 ()			5	29	1	1		2	
	道路貨物運送	96 ()	6	61	15	14		22	19	11	10
	その他の運輸交通	0 ()									
	計	137 ()	7 ()	63 ()	22 ()	44 ()	1 ()	23	22	13	10
貨物 取扱	陸上貨物	26 ()	2	11	4	6	3	3	10	3	
	港湾運送業	3 ()		2	1			1			1
	計	29 ()	2 ()	13 ()	5 ()	6 ()	3 ()	4	10	3	1
農林業		4 ()	2	2				2			1
畜産・水産業		5 ()	2	3				2			
商業		158 ()	27	70	14	32	15	20	47	6	8
金融広告業		11 ()		4	4	2	1	1	6	1	
映画・演劇業		2 ()		2				1			
通信業		21 ()			1		20	2	6	1	
教育研究		12 ()		6	1	1	4	1	4		
保健衛生業		100 ()	5	45	23	12	15	5	28	7	3
接客娯楽		69 ()	5	52	7	4	1	2	17	4	7
清掃・と畜		64 ()	7	25	11	16	5	16	22	2	1
官公署		1 ()		1						1	
その他の事業		51 (2)	4	17 (2)	15	9	6	12	14	2	3
平成28(2016)年 総計		929 (5)	180 (2)	384 (2)	117 ()	156 ()	92 (1)	150	222	51	62

注：労働者死傷病報告より

資料出所：神奈川労働局

平成28(2016)年(1月～12月)

平成26(2014)年(1月)～(12月)																		
事故の型別																		
崩壊・倒壊	激突され	はさまれ	巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	溺れ	高温・低温との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	(道路)交通事故	(その他)交通事故	無理な動作の反動	その他	分類不能	
1	6	1	2										6		1			
	5	10	10					2					4		2			
	1	4					1	3	1				5		1			
1	12	15	12	0	0		1	5	1	0	0	0	15	0	4	0	0	
1	1	6	6				1								3			
		1																
		1																
							1						2		1			
		1																
		2																
1	1	6	2	1					1				2		5			
		1																
															2			
	1														1			
		2	1				1											
2	3	20	9	1	0		3	0	1	0	0	0	4	0	12	0	0	
	1	1													1			
	1	1											22		5		3	
	4	11	1	1				1					6		10			
0	6	13	1	1	0		0	1	0	0	0	0	28	0	16	0	3	
1	3	1					1								4			
		1																
1	3	2	0	0	0		1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
			1															
	3																	
5	4	12	16				3				1		15		20		1	
													2		1			
	1																	
	1												7		4			
		1	3										1		1		1	
	2	1	6									1	5		34	6	2	
		2	14				11						3		8		1	
1	2	5	3							1			5		6			
	2	3	4										4		6	1		
10	39	74	69	2	0		19	6	2	1	1	1	89	0	116	7	8	

注：労働者死傷病報告より

資料出所：神奈川労働局

2-3-4表 川崎市内の事業所における労働災害(死亡事故)

発生時期	発 生 概 要 < 平成28年(2016)年1月～12月 >
1月	屋外に設置されている天井クレーンの保守のため、クレーンの運転室に入ろうとした際に、被災者が乗っていた点検歩道への通路が傾き20m下の地面に墜落した。
3月	4階建て共同住宅の改修工事において、荷を屋上にあげるため足場に設置したウインチを移設する作業をしていた際、荷を屋上に引き入れるために足場の手すりを取り外してできた足場外側の開口部から、11.2m下の地面に墜落した。
3月	病院の駐車場における案内の業務中、駐車場内の車両が急発進して激突された。
5月	客先店舗での納品作業中に体調不良を訴え、車の荷台で休んでいたが、意識不明の状態で発見され、搬送先の病院で死亡した。過重労働によるものとして労災認定された。
6月	スタッパークレーンのケーブル取替工事において被災者が上から下されるケーブルの長さを確認する作業中に、他の作業者がクレーンを約1m前進させた際、クレーン制御盤と柱とのすき間に挟まれた。

資料出所: 神奈川労働局